

2025 年 5 月 16 日(金) ハコラク 6 月号 掲載

医療の現場から『認知症の方が安心して生活できる環境づくり』

岩館 由佳子 認知症看護認定看護師

認知症の方が 安心して生活できる環境づくり



函館中央病院

認知症看護認定看護師

岩館 由佳子 さん

函館市の高齢化率は2023年で36・9%と全国平均の29・2%を上回る結果となっており高齢化が進んでいます。また認知症の方の割合は、高齢者のうち13・6%という結果がでており、2035年にはさらに増加し高齢者のうち16%の方が認知症になるのではないかとという報告もあります。

認知症の方には記憶の障害や時間や場所の感覚の障害、自分の思いを言葉で伝えることが難しいなどの症

状があります。さらに慣れている環境が変わることで生活しづらい状況となり、認知症の方にとって不安や混乱を来しやすい状況に繋がってしまします。高齢化が進んでいる中でも認知症の方が病気の治療のために入院することも多く、慣れない入院生活に不安やストレスを感じている方も多いです。そのような不安や混乱を予防するための工夫の一つとして、可能な限りいつもの生活に近づける環境づくりというものがあります。

ます。

例えば病院へ入院した際、初めての場所に緊張や不安を感じる方が多いと思いますが、認知症の方も同じく不安に感じています。今までの日常と違う見慣れない場所や知らない人がたくさんいる環境に、より一層不安を感じていることが多いです。そのため、少しでも安心できるように普段の生活で使用しているもの（お気に入りのコップや眼鏡、羽織物など）をご本人の手に届く場所に置いたり、普段行っている習慣や趣味を入院中も行えるように環境を調整するなど、できる限り普段と同じ生活が送れるように一工夫をすることで混乱や不安を予防することに繋がります。

普段慣れている環境から少しでも変化があるとき、一番不安に感じているのは認知症の方ご本人です。入院時だけではなく自宅で生活している時でも、環境が変わる際には少しでも不安や混乱を予防するための工夫をしてみること、ご家族の方にとっても安心して生活できる環境になり、認知症の方が自分らしく生活できることにも繋がります。